

2 研究の実際 > (2) 授業の実際 > ウ

活動案(小学校 3時目)

◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。

◆本時の展開

学習活動	教師の働き掛け
1 前時の活動を振り返る。 【2分】	○授業前に前時までのワークシートと振り返りシートを返却し、自分の「強み」や前時までの学習を通じた気づき等を思い出すことができるようにして、活動への意欲を高めるようにする。
2 本時のめあてを知る。 【1分】	【本時のめあて】 自分や友達の「強み」を生かしていこう
3 「お宝ウェビング」の活動を行う。 【18分】 交流活動(4人) (1) 1、2時目の活動で見つけた自分の「強み」を書き、関連した「強み」を線で結ぶ。 (2) 友達のワークシートに「強み」を書き加える。	○ワークシートを配付する。 ○スライドを提示し、活動内容と方法を説明する。 ○1、2時目のワークシートにある自分の「強み」を「お宝ウェビング」のワークシートに書いた後に、関連した「強み」を線で結ぶように指示する。 ○新たに気付いた「強み」を書き加えてもよいことを伝える。 ○「強み」を書き加えるときに自分の名前を書くことにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めるようにする。 ○友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設ける。
4 「これがあれば大丈夫！」の活動を行う。 【16分】 交流活動(4人) (1) 今後、困ったときや落ち込んだとき、何かにチャレンジしたいと思ったときに、これがあれば大丈夫だと思える「強み」を2つ選び、選んだ理由を書く。 (2) 選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う。	○スライドを提示し、活動内容と方法を説明する。 ○「お宝ウェビング」を参考にして、自分が生かしたい「強み」を2つ書くように助言する。 ○選んだ理由を書くことにより、自分の「強み」を生かしていこうとする意欲を高めるようにする。 ○1時目に学習した「話をきくときの約束」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができるようにする。 ○選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合うことにより、自分や友達の強みを更に生かしていこうとする意欲を高めるようにする。
5 本時の活動を振り返る。 【5分】 交流活動(4人) (1) 本時の活動を振り返る。 (2) グループで気づきを伝え合う。	○振り返りシートを配付する。 ○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにする。
6 3時間の学習活動を振り返る。 【3分】	○スライドで3時間の学習活動の様子の写真や振り返りシートの記述を提示して、振り返ることができるようにする。 ○これからも自分や友達の「強み」を見付け、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるようにする。

※3時間の学習で使用したワークシート等をファイルにとじ、「ストレングス・グッズ」として児童に配付する。